

「チェックリスト」及び「手引き」の使い方

「手引き」では、先生方のクラスの実態と先生方の指導の現状を基に、先生方にお勧めの手立てが分かるようになっていきます。「手引き」を使う前に、「チェックリスト」(図 1) で次の①②を行い、指示された「手引き」のページ(次頁図 2)にお進みください。※チェックリストでのチェックは、学期に1回程度で構いません。

- ①「チェックリスト」の質問に答えていく。
- ②「チェックリスト」で指示された手引きのページを開く。

【チェックリスト】

手引きを使う前に、以下の質問に答えてください。

toppage

**Q 1**  
社会科の単元づくりを、「問題解決的な学習」を意識して行っていますか？

※「問題解決的な学習」とは、「①社会的事象と出会う ②学習問題を見いだす  
③予想や学習計画を考える ④予想や学習計画に基づいて追究する  
⑤調べて分かったことや考えたことをまとめる ⑥新たな問題を見いだす」  
の学習展開で構成された単元計画とします。

A: 行っている  
→ Q 2 へ

A: 行っていない  
Click

**Q 2**  
次の項目に幾つ当てはまりますか。

児童の「あれ?」「どうしてかな?」「こうなんじゃないかな?」といった疑問や予想を引き出している。  
 学習問題を見童の言葉を引き出しながらつづっている。

A: 2つ当てはまる。  
→ Q 3 へ

A: 0又は1つ当てはまる。  
Click

**Q 3**  
次の項目に幾つ当てはまりますか。

学習問題を解決するために、何を調べるとよいのか  
 学習問題を解決するために、どんな方法で調べるといいか  
 学習問題の答えを予想させている。

A: 3つ当てはまる。  
→ Q 4 へ

どのように授業改善を始めたらいいのだろう?  
チェックリストで、自分の授業改善のスタートラインを決めよう。  
注意: 画像はイメージです。リンクしていません。

**Q 4**  
次の項目に幾つ当てはまりますか。

調べることを明らかにして、調べるようにしている。  
 調べたことを、ペアやグループで共有するようにしている。  
 調べたことをもとに、考えることを共有するようにしている。  
 考えたことを、ペアやグループで交流するようにしている。

図 1 チェックリスト

チェックリスト及び手引きの使い方-1



**手順 1**

- ① クラスの実態に  する。
- ②  が付かない場合、⇒が示す記号・番号に進む。

自分のクラスは、資料を見せても、なかなか気付きをもつことができていないな・・・自分はどんな指導をしているかなあ。A①②をチェックしてみよう。



| 学習過程                 | 課題把握   |  | 課題追究  |   | 課題解決  | 新たな課題   |
|----------------------|--|--|---|---|---|---|
|                      | 動機付け   | 方向付け   | 情報収集  | 考察・構想   | まとめ   | 振り返り  |
| 知識                   |  |  | (1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> C①②③④⑤  |   |   |   |
| 技能<br>(収集する読み取るまとめる) |  |  | (1) 学習問題や学習課題(本時のめあて)を解決するために必要な資料を集めることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> C①②③  |   |   |   |
| 思考・判断・表現             | (1) 資料を基に気付きをもつことができる。 <input type="checkbox"/> A①②<br>(2) 資料を基に疑問をもつことができる。 <input type="checkbox"/> A①②③<br>(3) 疑問に対して、予想を考えることができる。 <input type="checkbox"/> A⑤⑥<br>(4) 気付きや疑問から、キーワード(問い)をつくることできる。 <input type="checkbox"/> A④⑤⑥⑦<br>(5) キーワード(問い)を関連付けて、大きな問いをつくることできる。 <input type="checkbox"/> A④⑦⑧⑨ | (1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。 <input type="checkbox"/> B①<br>(2) 自分が調べたいことを考えることができる。 <input type="checkbox"/> B①②<br>(3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。 <input type="checkbox"/> B①②③ | (1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。 <input type="checkbox"/> C①②③④⑤<br>(2) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。 <input type="checkbox"/> D①②③<br>(3) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> D②③④⑤<br>(4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。 <input type="checkbox"/> D④⑤⑥⑦<br>(5) 目的や自分の意見に基づいてまとめることができる。 <input type="checkbox"/> C⑥⑦⑧⑨⑩ | (1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。 <input type="checkbox"/> E①②③④<br>(2) 友達や自分の考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> E①②③④<br>(3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。 <input type="checkbox"/> D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ | (1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。 <input type="checkbox"/> F④<br>(2) 友達や自分の考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> F①②③<br>(3) 新たな立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。 <input type="checkbox"/> D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ | (1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。 <input type="checkbox"/> F④<br>(2) 新たに調べたいことを考えることができる。 <input type="checkbox"/> F①②③ |
| 主体的に学習に取り組む態度        |  |  | (1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B①②③⇒C①②③<br>(2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。 <input type="checkbox"/> B①②③⇒C①②③④<br>(3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。 <input type="checkbox"/> A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨<br>(4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。 <input type="checkbox"/> A①⇒F①②③④    |   |   |   |



**手順 2**

- ③ ⇒が示す手立てを授業で取り入れているかどうか、若い番号から順にチェックする。
- ④ チェックが付かないものを明日の授業や次の単元に取り入れる。

A①は、やっているぞ。でも、A②の資料提示の工夫はやっていないな。気付きをもたせるため、次の単元に取り入れてみよう。



| 学習過程 | 課題把握  |  | 課題追究   |  | 課題解決  | 新たな課題   |
|------|---|--|--|--|---|---|
|      | 動機付け  | 方向付け   | 情報収集   | 考察・構想  | まとめ   | 振り返り  |
| 手立   | A①身近なことを題材に挙げる。 <input checked="" type="checkbox"/> A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。 <input type="checkbox"/> A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。 <input type="checkbox"/> A④気付きや疑問を教師が意図的に仲間(キーワード)分けて板書する。 <input type="checkbox"/> A⑤気付きや疑問に対して、問い返ししながら、児童に予想を出させる。 <input type="checkbox"/> A⑥自分の考えをもちやすい場面(予想など)で、自分と相手の意見が同じか違いか考えさせながら対話させる。 <input type="checkbox"/> A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。 <input type="checkbox"/> A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。 <input type="checkbox"/> A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。 <input type="checkbox"/> | B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。 <input type="checkbox"/> B②調べるとよいか考えたことをグループにし、何から調べたらよいか考えさせる。 <input type="checkbox"/> B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。 <input type="checkbox"/> | C①学習問題を確認する。 <input type="checkbox"/> C②調べた事実を図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。 <input type="checkbox"/> C④調べた内容(視点)を確認する。 <input type="checkbox"/> C⑤調べた内容について、予想させさせる。 <input type="checkbox"/> C⑥資料(写真、教科書等の文章等)をつづつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。 <input type="checkbox"/> C⑦教師が指示した資料で調べさせる。 <input type="checkbox"/> C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。 <input type="checkbox"/> C⑨様々な資料を見せ、読み取った視点を増やす。 <input type="checkbox"/> C⑩学習問題や学習課題(本時 | D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を積極的に行う。 <input type="checkbox"/> D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。 <input type="checkbox"/> D③根拠となる資料を確認する。 <input type="checkbox"/> D④話し合いの目的・ゴールを示す。 <input type="checkbox"/> D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。 <input type="checkbox"/> D⑥視点を基に、考えをもたせる。 <input type="checkbox"/> D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。 <input type="checkbox"/> D⑧比喩的例を示す。 <input type="checkbox"/> D⑨キーワードを挙げる。 <input type="checkbox"/> D⑩比喩的例に関する判定基準を示す。 <input type="checkbox"/> D⑪提示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。 <input type="checkbox"/> | E①単元全体のまとめ方を例示する。 <input type="checkbox"/> E②キーワードを挙げる。 <input type="checkbox"/> E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。 <input type="checkbox"/> E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。 <input type="checkbox"/> | F①新たな学習問題を提示する。 <input type="checkbox"/> F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。 <input type="checkbox"/> F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらう。 <input type="checkbox"/> F④学んだことと自分たちの生活(自分ができること)とをつなげて考えさせる。 <input type="checkbox"/> |

図 2 指示された「手引き」のページ ※手引きでのチェックは、1 単元ごとに行うことをお勧めします。

